

① はまなか 議会だより

NO130
令和元年10月15日発行



9月定例会

	3歳児以上の保育料が無償化に	2P
一般質問	4人の議員が町政を問う	6P~9P
	学遜志 (雪田 菜海 さん)	10P

昭和、平成と若い世代を中心に受継がれた浜中神社祭典が、令和元年度も盛会に開催されました。浜中保育所園児17名による踊りが、地域の皆さんに愛らしく披露されました。浜中のお祭りが次の時代へと引き継がれることを望みます。

表紙の写真

3歳児以上の保育料が無償化に 延長保育と副食費の無償化を 町独自で支援

9月
定例会
12日・13日

9月定例会が12日・13日の2日間の会期で開催。

一般会計・特別会計補正予算と条例改正など18議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計は8415万円を追加し、予算総額91億1713万円となりました。

一般質問は、4人の議員が登壇しました。

保育料の無償化と

町独自支援の内容

□ 「子ども・子育て支援法」の改正により、本年10月から保育料が無償化となる。

対象となるのは、3歳以上のすべての児童と住民税非課税世帯の0～2歳までの児童。

また、複数の子どもがいる世帯の0～2歳児の保育料は、現行制度を継続して第2子は半額、第3子以降は無償である。

□ 国の制度改正では保育料は無償化されるものの、副食費（おかず・おやつ代）は実費徴収することとなっているが、町独自の子育て支援策として、保育料無償化対象児童の副食費も無償とする。

また、0～2歳児の主食・副食費についても、独自支援策として無償化する方向で調整中である。

なお、保育料無償化の対象児童数は91人で、734万円の減収となるが、不足する財源は、国の交付制度が確定した後に補填される。

□ 現行、午後6時であった常設保育所閉所時刻を6時30分まで無償で延長する。さらに、午後7時までの30分間を延長保育時間（1歳以上）とし、1回の利用料を500円とする。



笑顔で「いただきます！」（霧多布保育所）

補正予算審議から

公の集会施設修繕料の内容は



魚田開発資料館を併設している丸山散布コミセン

問 修繕料114万円は3施設分であるが、施設名と修繕内容および修繕費と工期は。

答 琵琶瀬住民センター外灯の更新で、ポールなどの腐食が著しいことから基礎ごと撤去・新設するもので、費用は36万円。

発注後、10日間ほどの予定。
西円朱別農民研修センター

1 玄関前から駐車場として活用している旧グラウンドとの一部をスロープ化し、段差解消を図るもの。費用は30万円で数日間の予定。
丸山散布コミュニティセンターは雨漏り補修で、明り取り天窓部分のシーリングと防水シートの張り替えを行う。費用は48万円で年内の完成予定である。

お試し住宅の利用状況は

問 お試し住宅の消耗品費10万円の補正内訳は。

利用状況と利用者の主な地域および目的は。
また、感想・要望などの集約は。

答 設置していなかった屋外用の物干し竿やゴミ箱で、利用者からの要望を受けてのもの。

利用状況は、3月から始まって5組10人で163日の利用である。主に関東・関西からの利用者で、年代

は50〜60代の人が多い状況である。中には、道内のお試し住宅を数多く利用している人もおり、移住先探しや避暑観光などが目的となっている。

退去の際に、浜中町やお試し住宅への感想などの聞き取りを実施している。

また、地域おこし協力隊の目線で入居者と会話をする場を設けており、聞き取った感想などの内容を精査し、今後の事業に活かしていく。

建物解体工事の内容は

問 工事請負費1650万円は、茶内町有住宅解体であるが、何棟分で場所は。

また、解体後の跡地を宅地として売り払うなど、有効活用を図る考えは。

答 新茶内保育所の道道向にある3棟で、昭和63年

に旧林務署から買い取った施設である。老朽化が進み屋根のトタンが剥げ落ちていくことから解体する。

跡地についての公共的な利用予定はなく、公売も考えられるが現在、要綱づくりの最中で、その後の検討となる。



解体を待つ風車

「ゆうゆ」風車の解体は

問 風車の解体費3553万円が計上された。以前から度も度々停止しており、老朽化によるものと思うが補修せず解体に至った要因は。稼働年数とトータル収支は。

答 風車は、自然エネルギーの活用から「ゆうゆ」への

電力供給を目的に国・道の補助を受け、平成12年4月に発電を始めて以来、19年間稼働してきた。その間、数度の故障はあったが、補修しながら運転してきた。今後も稼働を続けるにはメインシャフト軸受の交換に9960万円と多額の経費を要し、他にも補修が必要な箇所もある。

また、今年度の当初予算額469万円の執行状況は。

さらに、フィット（固定価格買取制度）が来年11月で終了し、売電価格が半減することから、稼働を断念し解体することとした。

また、19年間のトータルで、収入が3億323万円、支出が2億1787万円

JR負担金の算定根拠は

8536万円の収益となっている。なお、当初予算の内、保

問 花咲線維持・存続を図る負担金110万円の負担

が決まった経緯と負担割合の根拠および負担の期間は。また、各自治体の負担は。

答 現在、JRは国から数百億円の助成を受けて運営

されている。これは、「国鉄事業団債務処理法」に基づいての支援であるが、その期限が令和2年度までである。その後の支援は、法律の改正が必要となる。

国が、地域とJRが協力して地方公共交通を守るという姿勢を見せることが法律改正を検討する要件との考えを示した。

これを受けて、JR・道・自治体で協議した結果、先ずは2年間、道と自治体が応分の負担をし、JRは経費削減に努めながら、利用

守点検査委託料373万円など必要としない経費は、確定後に減額補正となる。

者増につながる対策を考え、経営の健全化を図ることとなった。

令和元年度は、北海道全体で2億円を負担し、道が7割の1億4千万円で、残りの6千万円を市町村が負担することとした。

このうち、花咲線の負担額は615万円で、沿線自治体である釧路市が165万円・根室市が138万円・釧路町が80万円・厚岸町と浜中町が同額の110万円となった。

負担割合の根拠は、均等割が一律75万円で人口に応じた人口割と財政力指数による財政割で計算された額の合計となる。

なお、沿線にない根室管内4町（別海・中標津・標津・羅臼）は、一律3万円の負担となった。

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
職員住宅改修工事（内装・ユニットバス 3戸分）	1200万円
霧多布小学校消火栓ポンプ更新（37年経過）	352万円
「MOTTOかぜて」取付道路補修ほか2カ所	303万円

水道事業会計剰余金を減債積立金などに積み立て

決算審査特別委員会を設置

意見書

可決

地方公営企業法により、剰余金の処分は議会の議決が必要。

平成30年度剰余金2532万円のうち1032万円を減債積立金に、200万円を建設改良積立金に、1300万円を自己資本金にそれぞれ積み立てる。

平成30年度の各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出されたことにより、議長・議選監査委員を除く8名の議員による委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

教育委員の任命に同意

天間館りゆう子氏は、9月30日付で任期満了となることから、無記名投票の結果、全員賛成で引き続き適任と認め、任命することに同意しました。



天間館りゆう子氏 (霧多布)

議会を傍聴してみませんか！
次の定例会は12月上旬の予定です。
傍聴される方は議会当日

議会事務局までお越しください。

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

※林業・木材産業の振興と山林における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

※森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。
※林業・木材産業の成長産業化を実現するため、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

(全員賛成)

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。

工事請負契約を可決

- 霧多布海岸陸間改良工事 (1号・2号基)
 - (契約先) ㈱住軽日軽エンジ
 - ニアリング北海道支店
 - (契約金額) 6262万円
 - (工期) 令和元年12月27日
- 霧多布海岸陸間改良工事 (5号基)
 - (契約先) ㈱住軽日軽エンジ
 - ニアリング北海道支店
 - (契約金額) 6898万円
 - (工期) 令和元年12月27日
- 霧多布海岸陸間改良工事 (4号基)
 - (契約先) ㈱住軽日軽エンジ
 - ニアリング北海道支店
 - (契約金額) 4767万円
 - (工期) 令和元年12月27日
- 霧多布海岸陸間高上改良工事 (1号・2号基)
 - (契約先) 赤石建設㈱
 - (契約金額) 5852万円
 - (工期) 令和2年3月27日



高上改良される陸間 (1号基)

一般質問

川村 義春 議員



問 防災計画の見直しと めざす防災対策は

答 国が示す津波高発表後 ハード事業を推進

川村 政府が、千島海溝沿いで、30年以内に超巨大地震が発生する確率が最大40%と発表。国が示す予定の予想津波高の公表は。
町長 予想津波高は、現在まで国からの公表はない。川村 国が示した津波高に基づいて、本町の防災計画の見直しをしようと思っただ。何に基づいて見直しをするのか。

町長 本町の現計画は、東日本大震災の直前に全面改正したものだ。計画の見直しは、災害対策基本法や国の防災基本計画、平成24年に北海道が公表した新たな津波浸水予測や北海道の地域防災計画との整合性を図る必要がある、国の浸水予測の公表にかかわらず今年度中に全面改正を行う予定。
川村 「犠牲者ゼロ」をめざす高知県黒潮町の津波対策を参考にソフト・ハード事業を検討しているか。
町長 黒潮町には、国の南海トラフの特措法が適用され、緊急対策に関する事業に厚い支援がある。ソフト面で参考としたのは、防災上の心配事も含め、災害弱者の避難カルテづくりを検討したい。
ハード面の参考は、国の補助、緊防債、県の交付金を活用して避難タワー6カ所が建設されている。
本町も国の津波高の想定見直し後に特措法の指定を受け、避難タワー建設などの事業を進めたい。



早急な補修が待たれる琵琶瀬漁港 右岸物揚場
(南側の50mで約2億円の工事費)

問 琵琶瀬漁港の
物揚場補修は

答 琵琶瀬漁港機能保全
工事として道が補修

川村 水門から外岸壁右岸の物揚場は、車の通行にも支障がでるほどコンクリートがはがれて凹凸ができているが現況確認は。
補修工事は、道の事業で検討されているのか。

町長 町も道も現況確認を
しており今年度と令和2年
度で測量などを行い、令和
3～6年度までに補修を終

える計画である。

問 社会福祉協議会の
体制強化を

答 組織体制のスムーズな
移行に向け支援

川村 将来の事務局体制の
確立に向け、正職員の現状
2人を3人体制に。

町長 将来の局長候補の育
成を見据えての考えは理解
するが、簡単に30代の人材
が決まるかどうか。決まれ
ば予算対応など社協と相談
したい。

一般質問

秋森 新二 議員



問 浜中町景観条例の制定は

答 時間はかかるが 条例制定に向け取り組む

秋森 平成30年度に実施された「景観に関するアンケート」結果では、「景観を損ねるもの」として空家、太陽光パネルなどがあげられており「景観条例」の制定を望む声も多い。
環境保全・産業振興の観点からも条例の制定が急務と考えるが、今後の方向性は。

町長 景観法に基づく環境条例の制定は、北海道から景

観行政事務の移譲が必要であり、これに向けた浜中町の景観計画の検討など町全体の合意形成に時間を要すると思うが、浜中町の望ましい景観を維持するためにも条例の制定に向け取り組んでいきたい。

秋森 太陽光パネル設置目的で町内民有林の買収が進んでいると聞く。森林以外も含め状況の把握は。

町長 民有林における太陽光パネル設置は、平成29年度1件、0・37鈴。30年度1件、0・99鈴を確認。

令和元年度は6件で約1鈴の伐採の届出があるが、設置は確認していない。

なお、町全体での太陽光パネル設置は381カ所、面積の把握はしていない。

秋森 環境アセスメントの対象は。

町長 令和2年度から4万kw以上の太陽光発電施設の新設は、環境アセスメントが義務化される。

問 放置廃船処理に行政の積極的な関与を

答 放置廃船は自己責任で処分すべき

秋森 所有者敷地内、上架施設などに放置されている廃船は、所有者不明のものも含め町内に相当数あると思われる。町内に産廃施設がないことや小型漁船であっても8万円ほど必要とされる。多額の処理費用が放置の要因と考えられることから、町の積極的な関与を望む声も多い。

具体的な方策は。

町長 町が把握している廃船は霧多布港臨港地区で15隻、各漁港用地で29隻の計44隻。漁船登録のある船や使用料を納入している船は放置廃船としてカウントしていない。

漁船は漁業者の所有物であるので、個人の責任において処分すべきものと考えているため処分費用の助成などは考えていない。

今後は新たな放置廃船を発生させないことを中心に、廃船台帳の作成や所有者への説明など効果的な方策を両漁協と協議していく。



守っていくべき景観（琵琶瀬展望台から）

一般質問

田甫 哲朗 議員



〔道の駅構想の推進〕

田甫 4年前、道の駅構想を立ち上げた時の町長の思いと、その思いの今は。

町長 地域を支える地場産業の振興策として、有効な手段の一つとの考えからでも、その思いである。

田甫 高規格幹線道路のルートや運営方法などの懸念から産業団体の中に慎重論もあるが、ルパン三世の知

名度を活用することで観光面での効果も期待できる。

凍結状態を解いて、検討会議などを立ち上げ協議を進めるべきと思うが。

町長 時期尚早との声もあり協議は進んでいないが断念したわけではなく今後も追求していきたい。

産業団体の協力は不可欠であり時間を要するが、多方面の人々も一緒に協議できる場を検討していく。

問 総合計画まちづくり委員会の提言活用は

答 提言内容を精査・検討していく

〔子育てサポートの充実〕

田甫 医療費の無償化や保育料の軽減など経済的支援は充実しているが、子育て世代の親子が気軽に集える施設を望む声がある。官民の連携協力により中標津町計根別地区の「こども館」の誕生が新聞で報じられた。子育て支援だけでなく人口減対策にもつながるものであり、本町でも取り組むべき施策と思うが。

町長 現在、霧多布・茶内に子育て支援センターを開設し、乳児のママの集いや乳児相談など実施している。また、保育時間の延長や



ママたちの努力で運営されている子育てサークル「茶内ほんわか文庫」

児童クラブの充実を図り支援体制の強化に努めているところである。

今後は、他町村の取り組みを調査研究し、産業団体や企業などと情報交換しながら官民共同でのサポート体制を検討していきたい。

〔屋外避難場所の風雨対策〕

田甫 平成28年3月議会でも質しているが、防災・強靱化部会から提言のあったD型ハウスなど簡易的建物を指定緊急避難場所に整備する考えは。

町長 現在まで地域からの設置要望は来ていない。コンテナのある場所では中にテントを配備しているが何もない避難場所が8カ所ある。ただ、近くに民家がある所もあり、避難場所ごとの状態や防災対策上の優先度を考慮しながら、必要な措置を講じていく。

その他の質問

〔災害時の逃げ遅れ対策〕

〔安心の医療体制〕

〔企業との連携による

雇用対策〕

一般質問

加藤 弘二 議員



問 国民年金生活者の実態は

答 個々の実態に応じた 相談業務で

加藤 国民年金保険料の推移は。
町長 平成10～16年までは1万3300円。それ以降は物価や賃金の動向に合わせて毎年調整し、令和元年は1万6410円となっている。
加藤 15年で3110円上がっている。一人分でも大変なのに家族分では大変と聞いている。

一方、支給額はいくらか。
町長 平成25年は6万5541円で、令和元年では6万5008円となっている。
加藤 国民年金は、厚生・共済年金に比べ、掛け金も支給額も約2分の1であるが、どうしてこんなに低いのか。

町長 年金は国の事業であり、自治体はその事務手続きを行っている。大きくは制度の違いである。国民年金は、老後生活費の補てんが目的であり他の年金は、老後の生活費そのものと捉えている。
また、保険料は国民年金が一律であるのに対し、厚生・共済年金は給与に応じた額となっている。
加藤 町内の国民年金受給者を訪ねてみた。
(事例1) 現在78歳。夫に先立たれ年金は月3万円。75歳になって大口のパートを

辞めて、3万円のパートで働いている。この先は不安であるとのこと。
(事例2) 83歳で一人暮らし。子どもが5人で生活は苦しかった。年金を払うお金はなかった。無年金。
15年前、夫が病気になる入院した時に役場の福祉保健課へ相談に行った。それ以来、生活保護を受けて生活しているとのこと。
生活保護費の基準と支給額は。

町長 保護費は、地域別の最低生活保障基準で決められており、申請の判断は都道府県が行うもの。
浜中町は3級の2であり夫68歳・妻65歳のモデルケースの場合、生活扶助費の10万190円と住宅扶助費3万8千円の合計13万8190円が月額である。

加藤 町民の国民年金支給額の実態を把握し、支援策を提供する必要があると思うが。

町長 支給額の実態は把握している。今後も、生活弱者に寄り添った相談業務を行っていく。



国民年金手帳

学芸志

霧多布高等学校
2年A組

雪田 菜海



「2学年の浜中学」

1年次では浜中町を知るための体験授業が多く、話を聞いたり、町内の施設に足を運んだりすることがほとんどでしたが、2年次では新たにプレゼンテーションスキルについての授業に取り組んでいます。この授業は私たちの学年から初めて取り組んでいるもので、来年の浜中学報告会を見据えて、発表に必要なスキルやマナーについて学んでいます。

2学年前期では、プレゼンテーションで必要なスキルを大きく3つに分けてそれぞれのテーマについて発表をつく

る授業をしてきました。

1つ目は「知らせる」です。テーマを自分の出生時のエピソードに設定して、事実を適切に伝える発表をし、お互いに発表の評価をしました。お互いに評価をすることで、自分ではわからなかった改善点や、ここが良かったのでこのまま続けていくと良いことなどが細かく分かりこれからの発表に活かすことができるようになります。

2つ目は「魅力を伝える」です。ペアで自分たちの好きな作品をテーマに、選んだ作品の魅力を伝えるという授業をしました。1つ目のテーマで学んだ発表の注意点などを、改善された発表をし、互いに評価しました。

ペアの人と前もって話し合いをしてから発表を作らなければいけないので改善点が沢山ありました。そして魅力を伝えるには観衆に見てみたい、聴いてみたいと思わせなければいけません。なので動画や音楽を組み込むなどそれぞれ工夫をしていました。

そして3つ目は「比較と考察」です。これはおすすめの商品について、グループで観衆が買いたいと思うように意識

して発表をしました。より商品の良さが伝わりやすくなるため、他の類似する商品との比較をしました。グループでの発表なので役割分担をして発表づくりができますが、それぞれの作業について声をかけ合わないとスライドと発言が合っていないなどという改善点が多く出ていて、綿密に打ち合わせておくことが大切だと思いました。

この3つを踏まえて、後期からは調査実習をします。前期の授業を受けて、発表するための基礎的な力がつき、来年の浜中学報告会に向けて調査をしているので、3年次にはきっと良い発表ができるのではないかと思います。

- 揮毫 書道部3年A組 赤石 夏波さん
- 読み方 がくそんし
- 意味 志を謙虚にするのが学問である。



町のピックアップ

秋晴れの下、浜いっぱい干された昆布

9月27日撮影

漁家の8割以上が着業している成昆布漁。今年例年以上の出漁でした。



町のピックアップ(話題)を募集します!

この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和2年1月15日です。

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265

発行 北海道浜中町議会
編集 議会広報聴常任委員会

〒088-1592
北海道厚岸郡浜中町霧多布東4条1丁目35番地1
☎0153-62-2220・2265

この議会だよりは、再生紙を使っています